

靴の歴史散歩 ⑥5

皮革産業資料館 常任委員 稲川 實

政府主催の第一回内国勸業博覧会は、明治10年（1877年）東京上野公園で開かれ、以後第二回は明治14年（1881年）、第三回は明治23年（1890年）と、連続して行われた。このうち特に第三回は、憲法発布記念ということもあって、かなり盛大に行われたらしく、風俗画報や絵はがき、錦絵などにも遺されていて、今でもその情報量は多い。

第四回は、京都を会場に明治28年（1895年）に開かれ、続く第五回は、明治35年（1902年）大阪で開催されたが、これを最後に、内国勸業博はその幕を閉じた。

さて、第一回内国勸業博覧会を識る資料に、『東京名工鑑』〈乾〉〈坤〉（明治十二年十二月印行・東京府勸業課）という本があるが、幸いにも坤の巻1冊だけだが、皮革産業資料館に所蔵されている。（写真参照）

この名工鑑に、靴工16名の名が載っている。内国勸業博で、優秀技能者として認められた名工たちである。

住所・氏名・年令に加え、所属の事業所、詳細な職歴まで記録されているが、全文転記するには、残念ながら紙数が足りない。そこで、とりあえず氏名と年令を、列記してみることにした。

靴工	依田 六蔵	二十四歳
ゝ	伊藤 寛	二十三歳
ゝ	渡辺栄次郎	二十五歳
ゝ	岡本 東三	二十三歳
ゝ	篠原才次郎	三十二歳
ゝ	永田 實三	二十一歳
ゝ	田中 好知	二十五歳
ゝ	山田馬三郎	二十三歳

ゝ	伊藤勇三郎	二十二歳
ゝ	鮫島幸太郎	二十二歳
ゝ	林 勇太郎	二十六歳
ゝ	河西 泰蔵	二十四歳
ゝ	三浦 直道	二十三年六ヶ月
ゝ	石川小太郎	二十七歳
ゝ	富澤仲次郎	四十四歳
ゝ	越石推三郎	二十二歳

以上の靴工、16名の平均年令を試算してみたら、平均年令がなんと25.5歳であった。いかに靴産業そのものが、若かったのかの證左であろう。

事業所別に見ると、16名中13名が、西村勝三所属の靴工で占められており、その数の多さに驚く。残り3名は、浅草の弾直樹所属の靴工がおさえている。西村勝三との事業規模から比較して、弾直樹側の3名というのは、かなり自慢できる人数ではないだろうか。（この項続く）



（皮革産業資料館 所蔵）